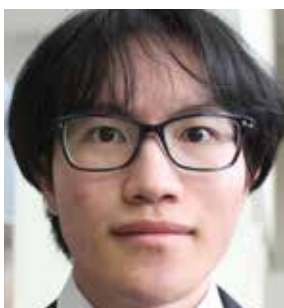
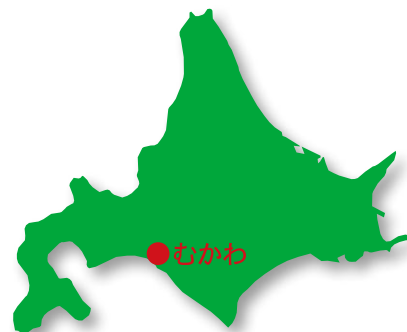




笑顔大笑!!



- 
- JA女性部料理講習会 … 2～3
  - JA青年部経営学習会 … 4
  - ニラ収穫順調 … 5
  - 花き生産組合定期総会 … 6
  - 農林水産大臣賞受賞アルストロメリア … 7
  - カボチャ部会定期総会 … 8
  - キャベツ部会定期総会 … 9
  - 令和7・8年 理事会議案一覧 … 8～9
  - ジャガイモ部会定期総会 … 10
  - ほうれん草部会定期総会 … 11
  - トマト部会定期総会 … 12
  - JAマイカーローンキャンペーン … 13
  - 新規就農の米谷夫妻 … 14～15
- 



編集・発行：令和8年3月1日  
**鶴川農業協同組合**

〒054-0023  
勇払郡むかわ町末広2丁目124番地  
Tel 0145-42-2611  
E-Mail jamukawa@sage.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス <http://www.ja-mukawa.or.jp/>



栄養士の岡部奈々未さん



**けんちん汁**  
人参、ごぼう、大根、こんにやく、豆腐、椎茸、油揚げの7種類が入り栄養満点



**開拓丼の具**  
人参、玉ねぎ、豚ひき肉などが入って色どりあざやか



**キュウリのツナ和え**  
手軽に作れて子どもたちにも好評



「おいしいですね!」

■みんなで会食、楽しいひととき  
完成後はみんなで会食し、料理を満喫した。  
参加した阿部あゆさんは、「昨年も参加してみなさんと交流ができて楽しかったので、今年も参加しました。とてもおいしく、たぐさんの具材が入っていて栄養満点で、もうすぐ2歳になる子供にも作ってあげたい。今年も楽しかったので、また参加したい」と笑顔で話した。  
関真紀部長は「女性部の活動を知ってもらうために、町内の一般の方にも参加して頂き料理を作り、懇親、交流



栄養満点の料理をいただく参加者のみなさん



ができて嬉しく、楽しいひとときを過ごしました。私も新規就農して10年以上がたち、女性部や地域の人たちと共に頑張っています」と話した。

1月15日

# JA女性部ワークショップ 学校給食メニューを作る



きれいに盛り付けする参加者

## 料理講習会と親睦会で交流

### 本日のメニュー

- 開拓丼
- けんちん汁
- キュウリのツナ和え



完成した料理

■地元食材を使って給食メニュー  
JAむかわ女性部は1月15日、むかわ町「まなぶ館」で料理講習会を開いた。  
女性部以外の人たちにも呼びかけ、6名が参加した。参加者はワークショップで料理講習会を行い、体験と交流親睦を深めた。この日のメニューは、できる限り地元食材を使用し、学校給食メニュー作りに挑戦した。  
講師には鶴川中央小学校の岡部菜々未栄養教諭を招き、「開拓丼」と「けんちん汁」「キュウリのツナ和え」

の3品目を調理した。岡部教諭は「給食で子どもたちに好評のメニューの中から、簡単に作れて、美味しい品目を選びました」と話した。  
参加者は5班に分かれ、「開拓丼」では、人参、玉ねぎなどを切り、豚ひき肉と一緒に炒めるなどの調理を施し、厨房において香り湯気が立ちこめた。「けんちん汁」では人参やごぼう、大根、こんにやく、豆腐、椎茸、油揚げの7種類を使用し、栄養満点の汁をつくり、2時間ほどで料理を仕上げた。

1月23日

JAむかわ青年部の経営学習会が1月23日、むかわ町農業センターで行われ、部員20名が出席した。

辻雄一郎部長は「労働力確保について学び、経営に生かしてください」と挨拶した。学習会の講師は農業振興部の阿部将太労務対策係長が務めた。

阿部係長は「外国人の労働力は農業

にとつて重要で、JAむかわで約250名近い人達が働いています。雇用形態などを学び、今後の経営に生かしてください」と挨拶した。阿部係長は日本における320万人の外国人労働者の国地域別外国人数や在留資格と農業で認められている技能実習と特定技能の制度比較について説明した。

## JA青年部経営学習会 労働力確保について学ぶ 懇談会に向けての意見集約も



阿部労務対策係長の話を聞く

JAむかわの受入期間は8カ月間だったが、3カ年の実習希望者から通算5カ年在留できる特定技能受入が主流となった。

派遣就労ができる全国規模のベジコープでは、特定技能外国人を必要な時に派遣している。派遣する人材は日本語が話せる元留学生や農業経験のある元技能実習生で、即戦力としての勤務が可能。直接雇用より、人材派遣のメリットは有効期間、社会保険労災などを派遣会社が負担するので流動的な雇用がしやすい。それに対し、デメリットは労賃が割高、原則は作業習熟無し、人材を選べないなどである。

冬期間農業の仕事がないJAむかわでは通年雇用が困難なので、全国的展開のベジコープを利用している。主に6カ月間雇用し、住宅確保や送迎など多岐にわたり配慮して労働力確保に努めている。

JAむかわでは、令和7年に発足した中国技能実習受入協議会と、JAむかわ高収益作物労働力確保対策協議会(令和4年に設立)を併合設立した。この会は実習生の制度の変更や枠にとられず、より広範かつ安定的な農業労働力の確保を目的とし、令和7(2025)年の会員数は45名。

阿部係長は「外国人の労働力確保に



意見を聞く辻青年部長(右)

ついて話しましたが、よくあるトラブルで休日や有給休暇など日本の当たり前は説明しないと伝わらないので留意してください。皆さんの個別相談も受けますので気軽にお声かけください」と講習会を締めくくった。

学習会終了後、2月20日に予定しているJA理事との懇談会に向けての意見集約の話し合いが行われた。営農や農協運営にかかる今後の展望など多くの意見が出された。これらの意見をさらに青年部の役員会で検討し、JA役員との懇談会に臨むことにしている。

一番取りの肉厚でおいしいニラ



蔬菜園芸振興会ニラ部会(部会員14名)では、1月4日からニラの収穫を始めた。

花岡地区の小笠原大揮さん(部会長)方では、1月12日から収穫を始め、



ニラを収穫する小笠原さん

## 今が旬 むかわのニラ 収穫順調!! 全道に出荷

23日現在日量20ケース(1枠5箱)を順調に出荷している。朝6時30分から8時まで刈り取り、下葉処理などの調整作業、計量と結束作業、箱詰めなど一連の作業を8名で午後5時頃まで行っている。

小笠原さんは「今年もおいしく、品質も上々の仕上がりとなりました。鶴川のニラの出荷量は全道2番目で、市場や消費者からも肉厚で甘みや香りも良いと高い評価を受けています。今後栽培管理には万全を期し、消費者の皆さんにむかわの美味しいニラを食べていただきたい」と話した。

ニラの栽培期間は長いですが、ニラ部会では品質低下を防ぐために3年間にとどめている。小笠原さんのニラの栽培棟数は6棟(1棟330㎡)で、1番を収穫して2番取りが出来るまでには3週間から4週間を要し、4月中旬から下旬迄3回の収穫を予定している。

小笠原さんは、あぐり王国北海道NEXTや苫小牧信用金庫発行の「とましん郷土文庫」などの取材に協力し、部会長として鶴川のニラの宣伝と販売促進に努めている。JAむかわのニラの出荷は週5回で、受入は3時から30分までのうちに札幌、旭川などの



収穫したニラを手

各市場に送られる。

ニラ部会では、期間をかけ育成することと品質、食味をより良いものにしてきた。生命力の強いニラの収穫は10回位できるが、ニラ部会では品質、食味を優先し、3回までの収穫と決めている。部会のほとんどは11月下旬にマルチをかけ、12月から暖房機で加温し、生育に万全を期してきた。

出荷期間中は毎週1回集まり、情報交換や品物の目慣らし会を行い、部会員全体で品質の底上げを図っている。さらに全部会員のハウスを巡回し、葉色、重量、病気などの栽培調査を行い、万全を期している。

小笠原さんは「生産費用が高騰しているけれど、さらなる高品質のニラ生産に努め、収益性の向上をめざしたい」と話した。

1月4日

2月5日

# 鶴川花き生産組合定期総会

## さらなる安定出荷めざす



総会で挨拶する松並恵一組合長

鶴川花き生産組合は2月5日、第39回定期総会をむかわ町農業センターで開催し、組合員9名が出席した。

総会には、むかわ町竹中喜之町長やJAむかわ長門宏市組合長、胆振東部農業改良普及センター西川智子支所長ら来賓6名が出席した。

松並恵一花き生産組合長は「令和7

年以降は暖冬や4月の記録的な日照不足、平均気温が過去最高となるなど厳しい栽培環境でしたが、組合員12戸の努力の結果、332万本の出荷本数、販売額2億9000万円を上げることができました。花岡FRDファームが『北海道花き品評会切り花の部』でアルストロメリアが初の最高位賞の農林水産大臣賞を受賞し、長年の努力と技術の確立に敬意を表します。令和8年度も気候変動や生産コストの上昇は避けられない状況が予測されます。情報対策の共有化と供給情報の提供、さらなる生産技術の向上で、夏秋期の安定出荷産地としてブランド力と組合員の所得向上をめざし、事業展開して参ります」と挨拶した。

来賓祝辞の竹中町長は関係機関に感謝とお礼を述べ、「生産者の皆さんに

敬意を表し、学校への花束贈呈や花育教育への支援に感謝しています」と挨拶した。

長門組合長は「組合員の努力と実績、農林水産大臣賞の受賞のお祝いを申し上げるとともに、花き生産組合の益々の発展を期待しています」と挨拶した。

西川支所長は「皆さんの取り組みが今後も大きな花を咲かせるようご祈念しています」と挨拶した。

総会議案の事業報告では、栽培技術講習会や販売推進、各種イベントへの花き提供などと、積極的宣伝活動、地域貢献活動などを報告。さらに一般会計、フラワー基金会計、特別会計収支決算を報告。



新三役と、挨拶する清野新組合長(左)

令和8年度の活動方針では「生産・流通・販売体制の強化」における栽培技術講習会等花き生産技術向上に関する各集会の開催や、nimaruの活用による出荷予定の把握や産地情報の発信などを、具体的目標とした。また「新品种・新技術の導入」や「部会組織の育成と活動推進」を確認し、組合員の結束を強めた。

役員改選では選考委員会を開き、新役員を選出した。提案した7議案は全て承認された。新役員は左記の通り。

組合長・清野雅之、副組合長・百目木秀信、書記会計・松並恵一、監事・亀尾佳数・内海宏昭



花き生産組合総会議場

鶴川花き生産組合の(株)花岡FRDファーム(内海宏昭代表)は第45回北海道花き品評会で農林水産大臣賞を受賞した。

11月26日の札幌花供養祭で授賞式が行われた。受賞したアルストロメリア「ブルーオーシャン」は7月下旬か

ら収穫し、厳寒の中でも順調に開花し、週3回の出荷日に2箱から3箱(1箱30本入り)を出荷している。

収穫は出荷日に合わせ、1日約150本を採花。選花、選別後順調に出荷している。アルストロメリア「ブルーオーシャン」は100坪ハウスの

半分、165アールに作付け。道内の出荷は現在、(株)花岡FRDファームだけで、道外でも1カ所程度の希少品種である。現在品種名を「コーラルシ」の名称で出荷している。

内海さんは「太くしっかりとした茎に大輪の花を咲かせ、凛とした風情で品質も良く、高く評価されている」と笑顔がこぼれた。

(株)花岡FRDファームでは、アルストロメリアを25棟(2000坪)と、ハイブリッドスターチス2棟(210坪)を栽培し、通年出荷している。現在も



農林水産大臣賞受賞のアルストロメリア「ブルーオーシャン」

昨年同様資材の高騰で花栽培は厳しい環境だが、市場関係者や消費者の支援で価格も高値で推移している。「どんな状況下でも品質保持と安定供給に努め、市場や消費者に喜んでもらいたい」と話した。



笑顔で「コーラルシ」を収穫する内海さん



アルストロメリアの栽培をするハウス



北海道花き品評会で農林水産大臣賞を受賞

2月3日

# キャベツ部会定期総会 高単価に支えられ前年越え



総会で挨拶する近藤部会長

蔬菜園芸振興会キャベツ部会（16名）は2月3日、むかわ町農業センターで定期総会を開き、15名が出席した。  
近藤慎二部会長は「今年度も猛暑の夏となり干ばつや病害虫の発生が多かったが、高単価に支えられ前年を超える実績となった。今

年もみんなでひとつの畑を耕作しているように対策を考え、情報を共有し克服していきたい」と挨拶した。  
営農部の阿部秀吾蔬菜園芸課長が、出荷数量16万7678箱（前年比98・5%）、平均単価973円（前年比106%）、売立金額1億6555万円（前年比105%）と月別、等級別、市場別実績対比表を報告した。  
事業報告では、栽培講習会や、ほ場巡回、道内販売推進、6回の役員会などと、収支決算を報告した。  
令和8年度の事業計画では、品種の選定や農薬の適期防除、肥料などの栽培履歴、残留農薬等に関するポジティブリスト制度の講習会などで安全の徹底を図ることを説明し、提案した議案第6号迄を全員で承認した。  
平成8年度計画では、40畝の作付面積で20万の出荷数量、1億8000万円の販売額を目標とし、3月9日から7月25日まで22回播種することを確認した。  
近藤部会長は「新規作付け者にはライングループで情報を随時流していきたい」と話した。

2月3日

# カボチャ部会定期総会 来期の目標反収決定



定期総会で挨拶する森部会長

蔬菜園芸振興会カボチャ部会（44名）は2月3日、むかわ町農業センターで定期総会を開き、部会員15名が出席した。  
森和也部会長は「今年も猛暑となったが、生食カボチャは前年と

ほぼ同額となった。加工かぼちゃは前年度の80%となった。減少要因を調査して今年度に生かし、皆さんの努力で販売目標を達成したい」と挨拶した。  
営農部の片山和祐蔬菜園芸係長が販売額などを報告した。販売実績は生食と加工用合わせ、販売高9554万円（生食前年比99・2%・加工用前年比82%）。さらに、生食と加工用の出荷数量や単価、取引先別内訳実績を報告した。  
令和7年度事業報告では、栽培講習会や、ブракクのジョー作付け者個別巡回などを報告した。また、一般会計収支決算と、機械会計収支決算を報告。令和8年度の販売目標計画では、計画出荷と平均単価で200円/詰をめざすとした。  
森部会長は「目標反収になるよう努力していただき、道外販売推進や、ブракクのジョー作付け者育苗巡回を行い、加工かぼちゃの価格確保を図りたい」と話した。総会では提案された全議案をすべて可決決定した。

## 令和7・8年 理事会議案一覧

### 第12回理事会議案書

日時 令和7年12月22日（月）午後2時30分

#### 【報告事項】

1. 組合員異動について
2. 11月主要行事について
3. 11月末事業進捗状況及び推定決算について
4. 11月末農畜産物販売実績について
5. 令和7年度年末手当の確認書締結について
6. 「マネロン等の防止にかかる対応状況」について

#### 【付議事項】

1. 公認会計士監査（期中Ⅱ）の結果報告について
2. 監査期間 令和7年11月10日（月）～12日（水）3日間  
・ 検出事項 ありません。
3. 議案第2号 令和7年度第3四半期監査報告について
4. 議案第3号 「コンプライアンス・マニュアル」の改正について
5. 議案第4号 固定資産の取得について
6. 議案第5号 令和7年度決算実施方針について

#### 【協議事項】

1. 令和7年度推定決算と決算の方向性について
2. 地区別懇談会の総括について

### 第13回理事会議案書

日時 令和8年1月28日（水）午後2時30分

#### 【報告事項】

1. 組合員の異動について
2. 12月主要行事について
3. 12月末事業進捗状況について
4. 12月末農畜産物販売実績について
5. 部門委員会の開催について
6. 1. 第2回農家経済対策部門委員会 1月9日（金）  
2. 第3回経済部門委員会 1月22日（木）  
3. 営農部門委員会 1月20日（火）
7. 令和7年度固定資産の減損会計について
8. 令和7年度12月末仮自己査定について
9. JAむかわ収支シミュレーションの結果について

#### 【付議事項】

1. 議案第1号 公認会計士監査（期中Ⅲ）の結果報告について  
・ 監査期間 令和8年1月21日（水）～23日（金）3日間  
・ 監査講評 仮査定結果については、気付き事項はありませんでした。
2. 議案第2号 外部出資の償却について
3. 議案第3号 令和7年度推定決算及び決算処理（剰余金処理）について
4. 議案第4号 固定資産の取得について
5. 議案第5号 令和8年度内部監査計画について
6. 議案第6号 令和8年度経営定期点検実施計画について
7. 議案第7号 令和8年度個人情報保護計画書について

2月12日

# ほうれん草部会定期総会

## 前年上回る単価で1億4千万円



挨拶する田畑松夫部会長

蔬菜園芸振興会ほうれん草部会(部員44名)は2月12日、むかわ町農業センターで定期総会を開いた。田畑松夫部会長は「高温の影響で夏場は収量減少したが、高単価に支えられ、販売額は前年度や計画目標にほぼ到達することができました。夏

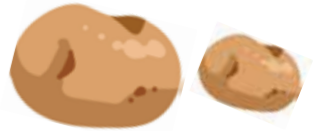
場の高温対策については遮光ネット等で対策試験を行い、効果をあげたい」と挨拶した。蔬菜園芸課の荒木将伍主任が、令和7年度の実績報告をした。合計出荷数量は5万1809kg、販売高は1億4505万円で、平均単価は2592円。ほうれん草は、東いぶり広域組合として、全量道内に出荷しており、市場別販売実績、とまこまい広域支部分と鶴川支部分を報告した。事業報告では、栽培講習会や、4月23日から10月27日迄の機械共選について報告。さらに収支決算報告、振興対策基金会計、連作障害対策基金会計について報告した。令和8年度の事業計画(案)では、栽培講習会や、機械共同選果、道内販売推進などを提案した。残留農薬検査や、種苗代は1袋300円を助成する。令和8年度の目標は、反収897kg、4万7845箱、販売額1億4172万円。目標に向け、面積の拡大と、平均収量と、作業性の向上に取り組むことを決定した。総会では、5議案を全て可決決定した。



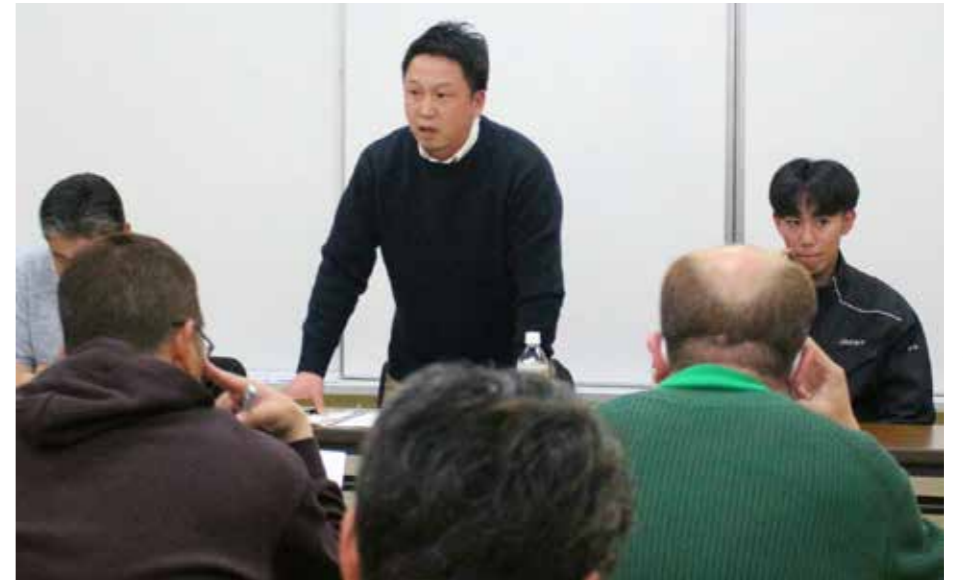
総会会場

# ジャガイモ部会定期総会

## 計画目標前年比越え



2月3日



総会で挨拶する高田部会長

蔬菜園芸振興会ジャガイモ部会(19名)は2月3日、むかわ町農業センターで定期総会を開き、15名が出席した。高田慎一 部会長は「高温だったが、計画目標を超える実績となった。鶴川は比較的冷涼な地域なの

でまだ伸びしろがあり、少しでも作付面積を増やしてください。皆さんの意見を聞き今後に生かしていきたい」と挨拶した。販売実績を営農部の本間琉玖職員が「販売実績はメークインと丸いも等作付面積81haで3億円となり計画目標、前年比を超えた」と報告。さらに市場別出荷実績、期間別販売実績を報告した。事業報告では、ほ場巡回や坪堀調査、道内外の販売推進等と一般会計収支決算と機械会計収支決算を報告した。令和8年度の事業では、種子消毒や現地講習会などの計画(案)を提示。令和8年度部会目標は「8月末までに掘取り終了し、有利販売につなげる。反収目標はメークイン2500kg。販売額2億2000万円」とした。丸いも、加工を合わせ、総販売目標金額2億6000万円。総会は上程した4議案全てを承認した。

### 地区別懇談会のご案内(予定)

下記の通り地区別懇談会を開催しますので、ご出席下さい。(各会場の開催時間は午後6時から)

- 3月23日(月) 地区懇談会 川東第2集落センター(生田)
- 3月24日(火) 地区懇談会 川西第1集落センター(田浦)
- 3月25日(水) 地区懇談会 本部事務所2階大会議室

# JAむかわ JAマイカーローンキャンペーン

2026年2月2日(月) ▶ 2026年9月30日(水)



車両購入

資金借換

修理・車検

車用品

## ＜キャンペーン金利＞

店頭表示金利より、▲0.9%  
例) 准組合員の方でお借入期間5年の場合  
…年2.7% (通常年3.6%)  
正組合員の方でお借入期間7年の場合  
…年2.6% (通常年3.5%)

※ 令和8年2月2日現在。  
※ 最新の金利は、窓口にてご確認ください。

さらに、当JA口座で給与受取等、  
一定の条件を満たすと...

キャンペーン金利より最大▲0.6%

優遇条件例)

- ・JAネットバンクをご契約の方 ▲0.2%
- ・JAカードをお持ちの方 ▲0.2%
- ・JAにて給与振込を指定の方 ▲0.2%

※ その他優遇条件はお借入相談時にご確認ください。

## 【ご利用いただける方】

- お借入時18歳以上、最終返済時年齢が正組合員は満80歳未満、准組合員は満75歳未満の方。
- 当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方。
- 継続して安定した収入のある方。
- 原則、勤続年数が半年以上ある方(新卒者を除く)。
- 原則、同一地区内に1年以上居住している方。
- その他、当JAが定める条件を満たしている方。

## 【担保・保証】

- 必要に応じて(ご相談下さい)。  
基金協会保証を付与してのお借入の場合、別途0.7%の保証料が掛かります。

## 【お借入金額】

- 10万円以上、500万円以内(所要金額の範囲内)。

## 【お借入期間】

- 1年以上、10年以内。

## 【お借入金利】

- 固定金利型のみ。  
(お借入時の金利を完済時まで適用)

## 【返済方法】

- 元利均等返済(ボーナス併用返済可)
- 元金均等返済(正組合員のみ可)

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。  
※その他、不明な点等がございましたら、お気軽にご相談ください。

ローンのお問い合わせはJAむかわ 金融部信用課 まで ☎0145-42-2613

## トマト部会定期総会

# 販売額前年度並、単価は上回る



2月13日

蔬菜園芸振興会トマト部会(52名)は2月13日、むかわ町農業センターで定期総会を開き、部会員31名が出席した。  
胆振農業改良普及センター東胆振支所の南辻牧子主査が来賓として出席した。



総会で挨拶する前田部会長

さらに部会では、6万7982坪で100坪3400結の収量、販売額9億4885万円の目標を決めた。定期総会は提案した7議案を全て可決決定。また4回の播種日程と4kgのトマトダンボールの規格を変更し、経費の節減を図ることを決定した。

前田拓郎部会長は「猛暑だった栽培技術の向上に努め販売額はほぼ前年並みとなった。本総会で意見を聞き今後活かしていきたい」と挨拶した。  
営農部の荒木将伍主任が、令和7年度の箱単価は1904円(前年比109%)、キログラム単価は423円(前年比108%)で販売額8億6812万円(前年対比96%)だったと実績報告をした。  
また、事業報告では視察研修や栽培技術講習会、生育調査、道内外の販売推進、反省会等のほか7月20日から11月7日まで行った共同選果について報告。令和8年度事業計画(案)は、ほ場巡回や現地栽培講習会、役員会、収穫自主検査会議などを行い、部会員で技術情報を共有し、相互の収量向上をめざすこととした。



総会会場



■周囲の人たちに支えられて  
翔生さんと愛さん(36歳)は苦小牧のスポーツジムで知り合った。笑顔が素敵で明るくしつかりした愛さんを好きになり、愛さんも翔生さんとの空気が心地良かった。2人は互いを認め合い、2022年11月結婚した。

愛さんは両親が離婚しており、中学生の時初めて鷗川で農業経営をする父親に会った。

翔生さんは愛さんの父親が住む鷗川に移住することを決め、義父の桑原猛さんと農業を継承することを前提に、本格的に農業に取り組むことにした。桑原さんは、水稲とカボチャ、カリフラワーを主に農業を営み、翔生さんにいちいち教えてくれることはなかったが、見て覚え、体験することで一日でも早く農業を身につけさせようとする心配りに違いがあった。時に言い争うことがあっても後腐れがなく、仲の良い親子と思われる。翔生さんは



# 夢に向かって 子育てに奮闘

## 新規就農の米谷翔生さんと愛さん夫妻



一緒に仕事をし、面倒見が良く義理人情に厚い猛さんは実父とは違うタイプで信頼できる人になった。翔生さんはJAむかわの青年部に入り、活動する中で新規就農者や盟友らの友人も増えた。またたく間に3年が経ち、2025年秋、中古のハウス2棟を購入してレタスを定植した。

# 鷗川の大地で 農業と

### ■事業継承目指し、来町5年目

豊城地区の桑原猛さんより経営移譲を受けた米谷翔生(かい)さん(28歳)は来町5年目を迎えた。札幌と苦小牧でインスタクターをしていた翔生さんは自立の道に農業を選択した。会社に勤め努力すれば立身出世できるが、創意工夫で経営者となる農業に魅力を感じ、鷗川担い手育成センターと相談し、2022年4月から小笠原弘義さんの所で研修することにした。

小笠原さんも新規就農者で、トマトとレタス、アスパラを栽培し、JAむかわの農業者となった。翔生さんは初めて農業にたずさわり、疑問が生ずると小笠原さんに聞いた。例えばトマトの芽かきは何のためにするのかを聞くと、ひとつひとつに理由があることに納得した。基本的なことを実践しながらも小笠原さんは干ばつや高温に対しても創意工夫をこらし効率を考え、収益性につなげた。

### ■頑張れば成果、農業は凄

サラリーマンは上司の指示命令をこなせば良かったが、農業は満足せずに改善して取り組む姿勢の凄さに感動した。農作業の段取りも万全で、栽培体系を組み立てた。

翔生さんは1年間の研修で「農業を何も知らなかったが、それが新鮮で楽しく、収穫時には達成感があった。しかし、農業は天候に左右され栽培は簡単ではなかった。何度も失敗もしたが、それが貴重な体験となった。農業は頑張った分だけ成果が出ると確信した」。

### ■家族そろって新たな挑戦

現在、米谷夫妻は小学生の陸斗(りくと)君、3歳の溜斗(るいと)君、2歳の心羽(みゆう)さんと街の公営住宅に住んでいる。昨年心羽さんが入園し、愛さんは農作業ができるようになり畑に出た。最初は、作物と雑草の区別もつかなかったが、しだいに慣れてカボチャやカリフラワー栽培に汗を流した。ぼぼんだ市場にも出荷し、販売する喜びも知った。

翔生さんは義父が培ってきた農業技術を身に付けて、今年2棟のハウスでレタスとトマトを栽培し、さらにハウスを増設して自分の経営を安定させることが当面の目標である。

翔生さんが現在栽培しているカリフラワーは、手間がかかりロスも出るが、加工などをして新たなことにも挑戦したいと考えている。

米谷夫妻は義父や仲間を支えられ、子どもたちの成長と家族の絆を大切に鷗川で生きていこうと奮闘している。愛さんはトレーニング後のお酒が好きで、翔生さんはゲームや歌うことが大好き。猛さんは孫たちとの食事を楽しみにし、行くと満面の笑みで迎えてくれる。

取材を通して生産資材やハウス等の高騰は痛手で、新規就農者や後継者にとって金銭的支援はもとより就農者が何を求めているかを見極め、それに応え鷗川に定住する環境づくりを構築することの重要性を痛感した。



正組員（ご家族）の方が逝去されました。

お く や み	謹んでご冥福をお祈り致します。			
	地区名	氏名	享年	逝去月日
	生田	村木 純一さん	88歳	12月6日

## JAむかわ職員OB会開催 (2026年2月14日)

令和8年2月14日、JAむかわ職員OB会がむかわ町内の「むさし」で開かれ、15名が参加しました。成田総務部長も出席し、楽しい時間を過ごしました。

## 編集後記

お正月が過ぎ、節分で邪気払いして福を呼び込み、季節は3月となり梅や桜の開花のニュースが聞かれるようになりました。心待ちにしていた春の足音が聞こえ、長い冬から目覚める季節です。☆JAむかわの決算が終わり農畜産物販売高は史上最高額の73億2千万円の快挙となりました。組合員の努力に敬意を表します。コロナ禍と世界の紛争により生産資材の高騰で厳しい農業経営を強いられてきた組合員にとってはホッと一息着ける年となったのではないのでしょうか。それにしても全体の物価高騰は止まらず、数年前と比べ、貨幣価値は減少の一途です。☆冬から春となり、生産者にとっては忙しい季節が到来し、今年も頑張らなければと意気込む日々ではないのでしょうか。☆一番大切なのは健康と気力です。年齢だけは誰にも平等で、それを止めることはできません。☆老化は生物学的な自然な過程ですが、見た目も若々しくキラキラと輝いている人がいます。人は健康的な生活習慣と心の持ち方で変わります。健康寿命を延ばすには「バランスの取れた食事」「定期的な運動」「十分な睡眠」「ストレス管理」「禁煙と禁酒」「定期的な健康診断」ですが、全てを実践することはむずかしいと思いますが、少しでも実行したいですね。☆私はJAだよりをつくらせて頂くことで皆さんに元気をもらい感謝しています。☆これから芋の種子消毒や播種作業、レタスの収穫など農作業で多忙な日々となりますが、健康第一に命の源の健康な食物を稔らせてください。(H・N)

### 2026年1月号の表紙を飾った人たち

			井上清輔さん(むかわ町に移住・夏は眞野晴樹さん勤務)	愛澤椿生(つばきさん)シヤモカミノミ参
			三上清文さん(シルバー人材センター副理事)	近藤双葉さん(シルバー人材センター理事)
			長瀬栞史(もみじ)さん(お父さんは生さん)	宮崎延也さん(シルバー人材センター理事)
			石川綾さん(ご主人は普及センター職員)	石川響太さん(お父さんは翔太さん)
			舛田響流(ご父さんは那由多さん)	相馬之心(いちご)さん(むかわ町ヒッチハイクボランティア)
			中村未悠さん(お父さんは宏樹さん)	石川陵太さん(お父さんは翔太さん)
			吉米地英則さん(蕎麦屋いころ店主)	中野憲明さん(シルバー人材センター監事)
			澤田維吹(いぶき)さん(むかわひかり認定子ども園勤務)	

【お詫び】2026年1月号9頁の写真は一昨年撮影のものでした。お詫び申し上げます。